



青森県感染症発生情報 (2017年第44週)

I 第44週の発生動向 (2017/10/30~2017/11/5)

- 手足口病については、むつ保健所管内で**警報**が**解除**されました。上十三保健所管内では**警報**が継続しています。上十三保健所管内の定点当たり報告数が増加に転じ、前週の約2倍に達しました。県全体の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっていますので注意が必要です。
- 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。
- インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はA型7人、B型3人でした。

II 第44週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	6	0.46	1	0.07	2	0.13			1	0.11			10	0.15	0
小児科	RSウイルス感染症	10	1.25	7	0.78	5	0.50	12	2.40	1	0.17			35	0.83	-13
	咽頭結膜熱	4	0.50	5	0.56	2	0.20	1	0.20					12	0.29	8
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	10	1.25	14	1.56	11	1.10	7	1.40	1	0.17	1	0.25	44	1.05	6
	感染性胃腸炎	9	1.13	18	2.00	27	2.70	11	2.20	2	0.33	7	1.75	74	1.76	3
	水痘	10	1.25	2	0.22	2	0.20	3	0.60	2	0.33	2	0.50	21	0.50	-4
	手足口病	16	2.00	4	0.44	38	3.80			56	9.33	7	1.75	121	2.88	11
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	4	0.50			2	0.20			4	0.67	1	0.25	11	0.26	0
	百日咳			1	0.11									1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	3	0.38	1	0.11	5	0.50	1	0.20			1	0.25	11	0.26	-9
流行性耳下腺炎					15	1.50	1	0.20	10	1.67	2	0.50	28	0.67	-9	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33			2	2.00					4	0.36	0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00	1	1.00	2	2.00	1	1.00	5	0.83	1
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

インフルエンザ (五類定点把握対象疾患) 第5回

インフルエンザは、インフルエンザウイルス(図)に感染することによって起こる病気です。突然現れる高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強いのが特徴で、併せてのどの痛み、鼻汁、咳などの症状もみられます。通常は1週間前後の経過で軽快しますが、小児ではまれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。

例年12月~3月がインフルエンザの流行シーズンで、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。県内では、第42週(10/16~10/22)から東地方+青森市保健所管内を中心に患者報告が続いています。

インフルエンザに感染しないためには、次の3つが大切です。

(1) 咳エチケットと手洗いを徹底しましょう

飛まつ感染を防ぐため、咳やくしゃみを人に向けず、咳やくしゃみが出る時はマスクをすること。接触感染を防ぐため、帰宅時や調理前後、食事前などこまめな手洗いをしましょう。

(2) 予防接種を受けること

発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。

(3) 免疫力を高めること

体の抵抗力を高めるために、日頃から十分な睡眠とバランスのよい食事をとりましょう。

インフルエンザワクチンの接種は、原則的に任意接種で、全額自己負担となりますが、65歳以上の方などは予防接種法に基づく定期接種の対象となります。定期接種の場合、市町村により実施期間や費用が異なりますので、詳細については、お住いの市町村や、かかりつけ医などにお問い合わせください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [インフルエンザ Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

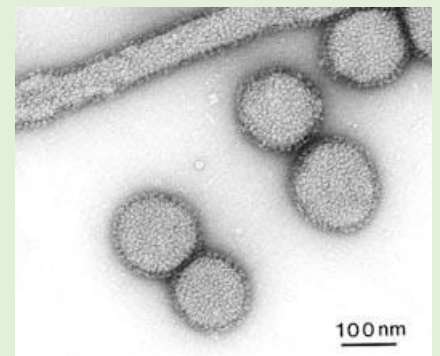


図: インフルエンザウイルスの電子顕微鏡像
出典: 国立感染症研究所 HP

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：上十三 1 人 （2017 年計：255 人）
- ・アメーバ赤痢（五類全数把握対象疾患）：青森市 1 人 （2017 年計：5 人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

手足口病患者（咽頭ぬぐい液、10/18）・・・ヒトライノウイルス A、HHV6B 及び HHV7：弘前 1 人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017 年第 41 週～2017 年第 44 週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	E型肝炎1人	レジオネラ症1人				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	腸管出血性大腸菌 感染症3人	梅毒1人			つつが虫病1人	
43	H29.10.23 ~ H29.10.29	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒1人					
44	H29.10.30 ~ H29.11.5	アメーバ赤痢1人					

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017 年第 41 週～2017 年第 44 週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	3	2				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	1	2	3	1		
43	H29.10.23 ~ H29.10.29	1	1	3			1
44	H29.10.30 ~ H29.11.5					1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第43週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	18755	7	122	3578	33	13	266	244	22	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	8	1	3	86	2	4	122	220	312	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	1	3	50	18	1	1475	39	889	240	1373

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	562	12	166	448	1147	48	295	23	2571	251

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4711	112	107	65	79	188	20

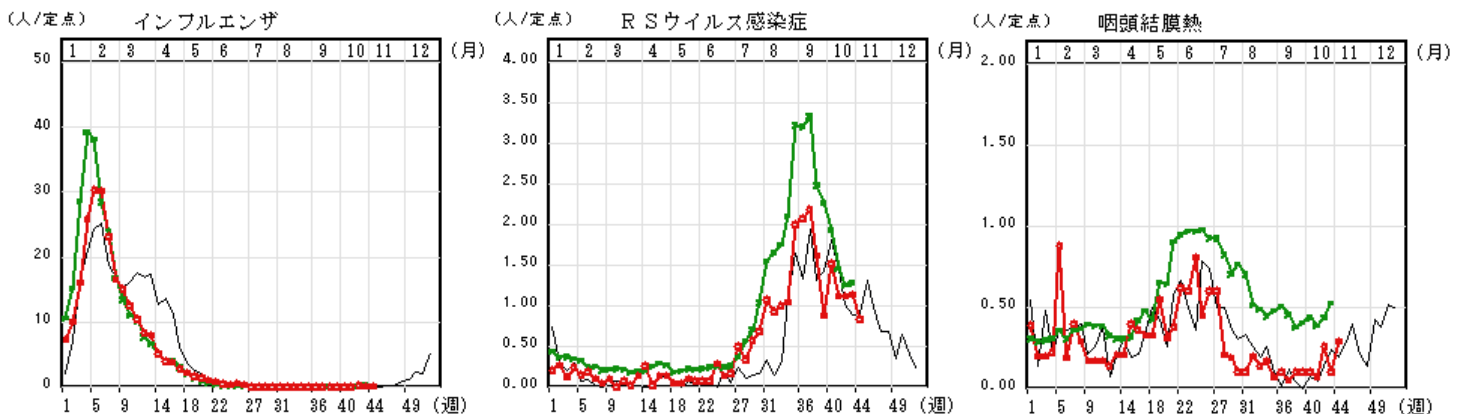
青森県（2017年第1週～2017年第44週までの累計）

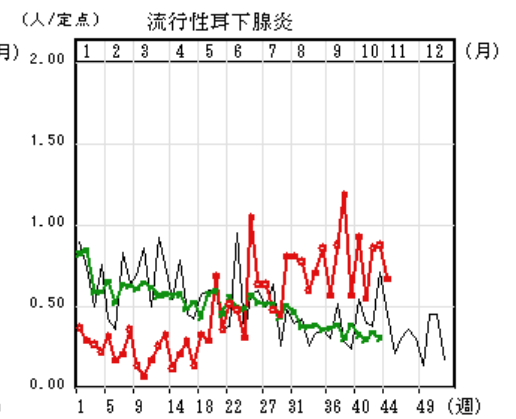
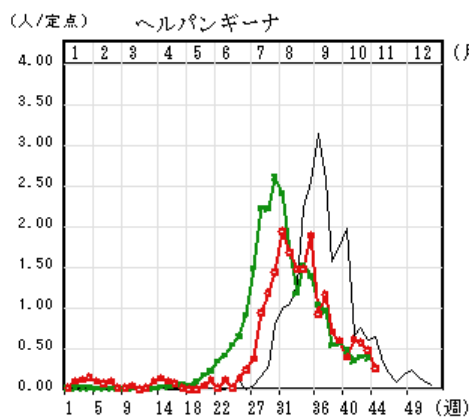
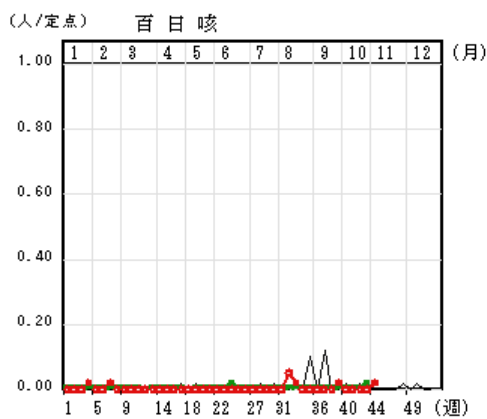
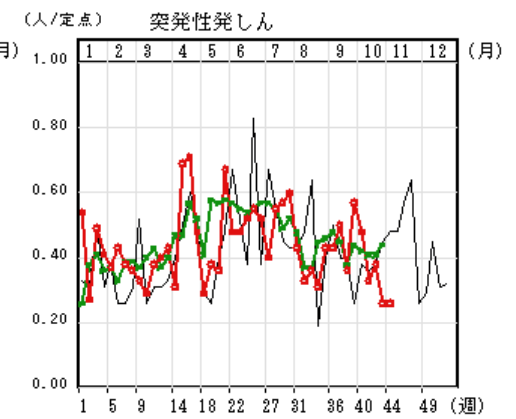
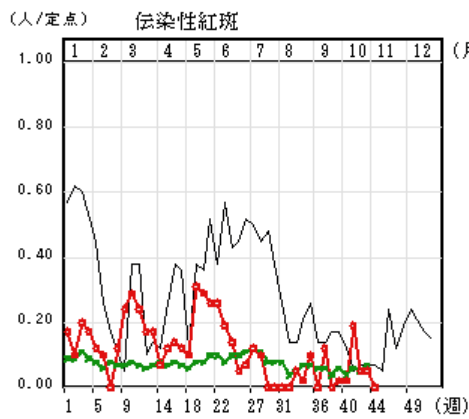
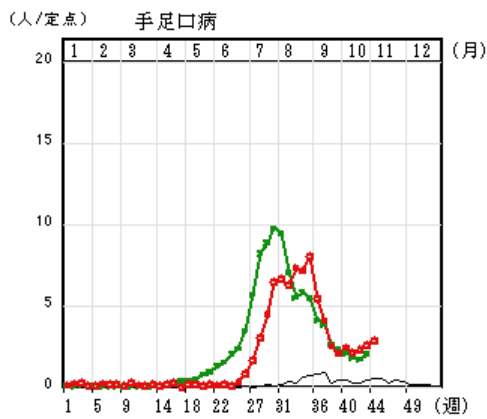
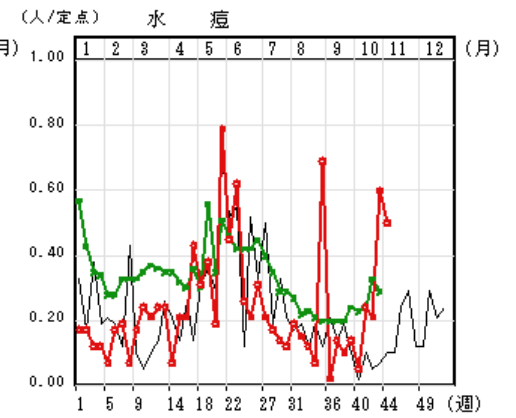
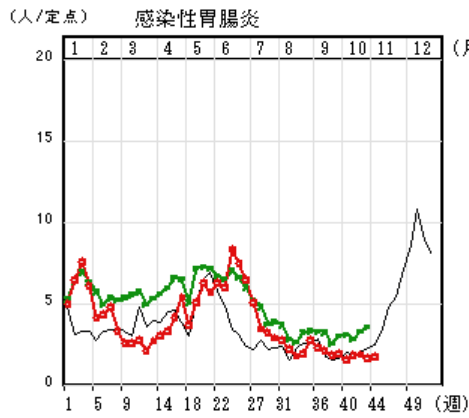
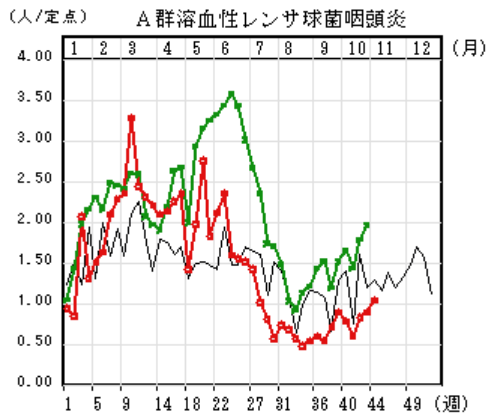
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	255	31	7	2	11	1	8	5	17	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	58	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第44週、ただし全国は前週）

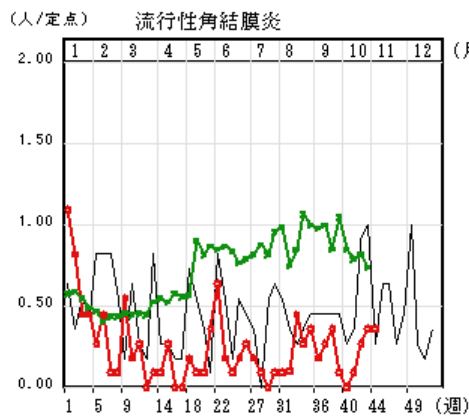
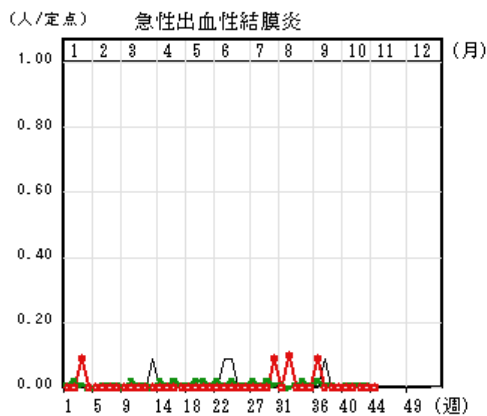
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





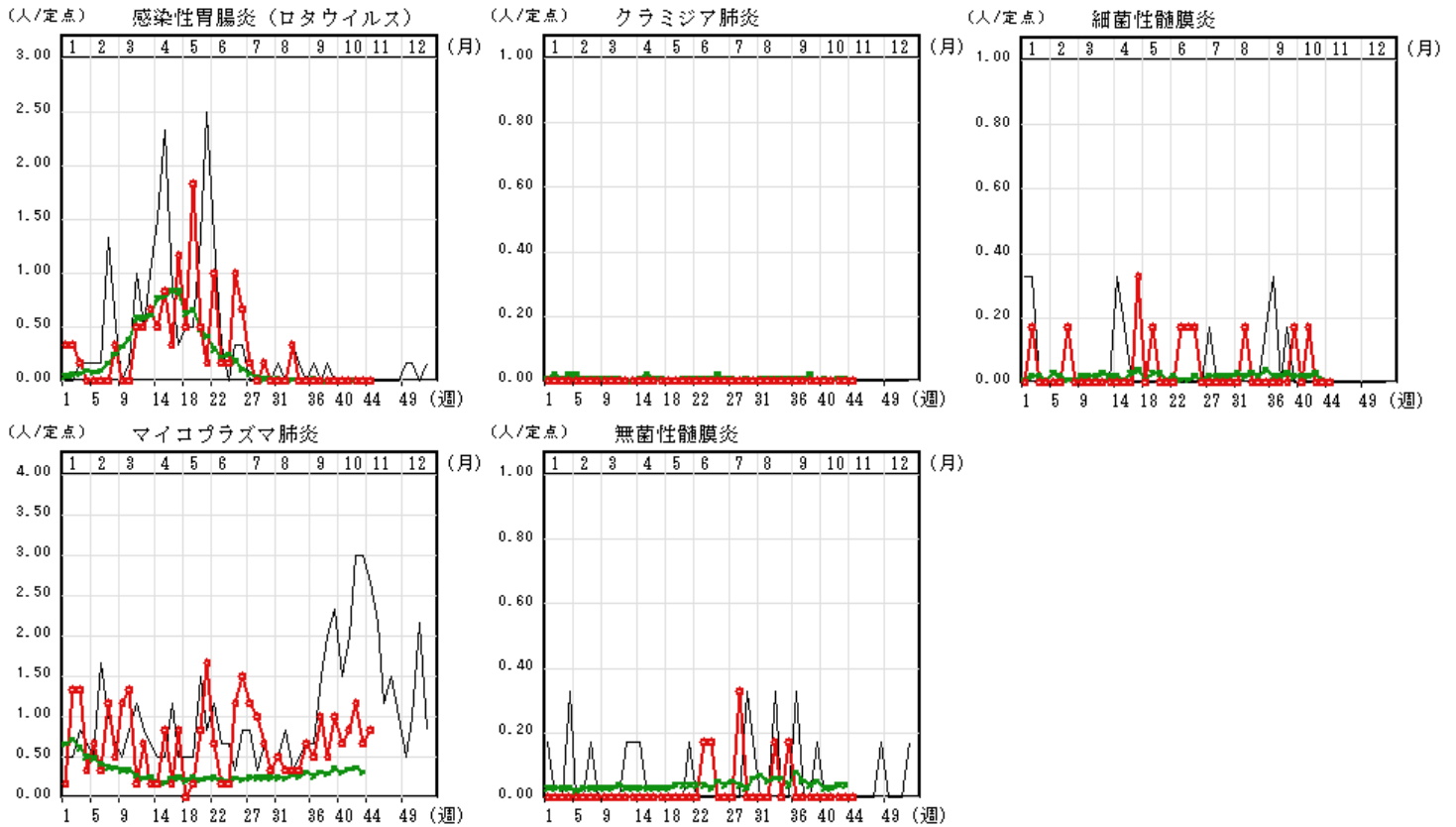
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第44週、ただし全国は前週)

グラフの説明 **○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国**



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第44週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第44週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)											計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-17週	5月 18-21週	6月 22-25週	7月 26-30週	8月 31-34週	9月 35-38週	10月 39-43週	11月 44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	227